議事録：第 9 回　海外事業展開事例研究会セミナー
「アジアビジネス　～海外レンタル工場の現状報告！～」

日時：平成 27 年 4 月 27 日（月）14 時～17 時 30 分
会場：　横浜市民活動支援センター　　4 階　会議室

内容：

◆代表挨拶：海外事例展開研究会　代表　猪狩 惇夫 氏（14 時 30 分～14 時 35 分）

今回の第 9 回セミナーは製造業などの関心の高い海外レンタル工場事情を説明します。　ベトナム進出が注目を浴びておりますので、ここを中心にしたセミナーです。　ジェトロ、神奈川県国際ビジネス課、住友商事、および会員の海外進出の支援経験者の方々の講演とその後の質疑応答で締めくくりたいと思います。

◆基調講演：

●ベトナム経済概況について

JETRO 海外調査部　アジア大洋州課　大久保 文博 氏（14 時 35 分～15 時 15 分）

最近のベトナム経済の概要についてご説明いただきました。

最初に基礎情報から報告致します。人口は 2014 年に 9,000 万人を超え、2030 年には 1 億人を超える見通しです。毎年、都市部の人口が 100 万人（構成比では約 1%）ペースで増加しており、農村から都市への人口の移動がみてとれます。ベトナムは南北に伸びているのが特徴で、ハノイホーチミン間は 1,800 キロあるため、物流が鍵となります。ハノイの方がコスト高の傾向。識字率は 93.1%で ASEAN 中トップクラスであることも注目すべき点になります。失業率は都市部で 3.43%、地方で 1.47 %です。人材採用難という状況ではなく、地域にもよるがほぼ雇用はできると考えてよいでしょう。一方、近隣のタイでは失業率が 1%を切る完全雇用の状態が続いています。これがタイプラス 1 に大きく影響しています。

続いて経済情勢について解説いたします。国内経済は停滞していたが徐々に回復傾向にあります。ベトナムは過去、慢性的な貿易赤字と高インフレが目立ち、マクロ経済指標の各項目が悪化していました。2011 年に 10 ヵ年戦略で政策転換を行い、マクロ経済の安定に重点を置くようになります。具体的には金融引き締めの一環として政策金利の引き上げなどを行いました。その結果、資金繰りが悪くなる企業なども増え経済は停滞したわけです。GDP 成長率は下がったものの、各マクロ経済指標は改善傾向にあります。近年、特に 2012～2014 年にかけて 3 年連続で貿易黒字を達成し、労働集約型、一次産業中心の経済から発展し、携帯電話等の部品の輸出入が拡大してきているのも注目です。

投資については、リーマンショック以降、増加傾向にあります。投資国は日本、韓国、台湾、シンガポールの 4 カ国・地域が中心です。2012 年の前半まではベトナム北部を中心に大型投資が顕著でしたが、2012 年後半からは中小企業の投資が多いのが特徴です。

続いて主要産業動向について解説いたします。バイク市場については、2011 年をピークに生産台数が減少傾向にあります。原因として、農村地域の所得が上がりきっておらず、なかなか購入に至らない、また都市部は既に飽和状態という理由が考えられるでしょう。ちなみに 270 ドル程度の平均収入に対して、バイクの販売価格は 1,000～2,000 ドル。スポーティなタイプが人気となっています。現金での購入が圧倒的なのもベトナムの特徴で、ローン金利が高いのもその理由の一つと考えられます。

バイク業界の停滞に反して、自動車関連は好調です。2014 年の生産台数は、13.8 万台を突破しました。これは車両登録税の引き下げ、景気回復に加え、過積載規制の強化により商用車の販売が伸びたことが要因です。2014 年の売上げ全体では、日本勢がシェアの 56.7%を占めます。トヨタ、マツダ、いすゞ、日野の売れ行きが好調です。

携帯電話、OA 機器市場も好調で、部品の現地調達を高める方針もあり、部品関連事業に関しては今後期待できそうです。小売に関してはイオンの展開に注目。日本企業にとっては売り込む場が増えてきたというチャンスがあります。観光も世界的には注目されていますが、伸び悩んでいる原因の一つに反中デモがあります。2014 年は中国、台湾から大幅に足が遠のき、華僑の多い ASEAN からも減少しました。観光業の発展を考えると、お得意様である中国、台湾、ASEAN の信頼を回復しなければいけません。

◆現状報告：

● ベトナムの産業市場、現地の製造業を知る

元 JICA・三菱総研委託調査員　中野 正也 氏（15 時 15 分～15 時 40 分）

裾野産業（サポーティングインダストリ）がベトナム国内できちんと育っているか、それを支えている素材産業はどうかという視点が重要ですが、農林水産業従事者は最近でもまだ半数を超えている状況から、一次産業の国というのは否めません。ベトナム産業の特徴として、輸出では一次産品や繊維等の軽工業品が上位を占める、裾野産業が未成熟、石油化学や鉄鋼産業が未成熟で石油の精製は行っているが後工程が未発達のため樹脂を製造していないとか、高品質な鉄鋼材料の製造には到達していないという点が挙げられます。また最近の二輪産業の発達に対し、自動車産業がまだまだ発達しているとは言えません。とはいえ、北部に輸送機器、複合機の産業集積が形成されつつある、また中部や南部では素材産業の産業集積が形成される可能性があり、今後の伸びに期待です。

工業化戦略の状況として、ベトナム社会経済開発 10 ヵ年戦略ならびにベトナム工業化戦略で戦略分野 6 業種が選定され、昨年 10 月の裾野産業開発マスタープランにより 2020 年までの開発計画、2030 年までのビジョンが通知されました。

まだ自動車産業は不十分ですが、今後自動車産業が発展的に伸びて、その裾野産業が広がることが期待できます。環境、電子分野も今後期待がかかる分野と言えるでしょう。日本の中小企業はベトナム現地企業からの仕入れ、外注先を探しているが、なかなかいいところが見つかっていない企業も多いのが現状で、生産拠点の分担により、タイ・インドネシア等の現地拠点へ販売するケースもあります。JETRO では北部、南部それぞれで 150 社の優良企業リストを紹介しています。

ベトナム経済と製造業を取り巻く環境の説明後、ベトナムの現地に点在する中小企業の実態をスライドで紹介。部品関連企業の製造現場や工程、オートバイ関連部品の製造、溶接等を行っている工場の様子をスライドで紹介しながら、ベトナム現地の一般的な製造業の実態を説明しました。

● 海外レンタル工場・事例報告

元 JETRO 新興国進出支援専門家　小野 耕司 氏（15 時 40 分～16 時 05 分）

国内での取引先大手メーカーの現地法人から、納入部品のコストダウンの要請を受け、インドネシアの首都ジャカルタに進出を決意、予算 1 億円でレンタル工場を選定し、契約に至った中小企業の具体的な事例を挙げて、レンタル工場を活用する際の流れや注意点を説明していただきました。また、ジャカルタ周辺のレンタル工場の現状として、東部と西部それぞれの特徴を解説していただきました。

ジャカルタ東部に展開している全ての工業団地は、今後の展開が予想される中小企業のためにレンタル工場を整備しています。一般的に、東部に比べて西部は半額程度で物件のクオリティーや環境、立地条件は価格に比例します。レンタル工場選択時の確認事項として、基本的な項目はもちろん、主要構造、排水規制、完売目標復帰範囲等の確認に加え、契約成立に至るまでの工程、また注意点として追加費用や、契約終了時の現状復帰範囲などを確認することが重要です。最終的には人件費や物流コストを勘案した上で、価格面と便宜面のどちらを優先するか。インドネシアも最近は景気が低迷しているが、豊富な資源があり、投機的には今後も期待できる市場と言えるでしょう。

● 神奈川インダストリアルパークのご案内

神奈川県国際ビジネス課課長　清水 周 氏（16 時 15 分～16 時 25 分）

神奈川県が展開している施策として、神奈川インダストリアルパークならびに県内企業海外展開動向調査についてご案内いただきました。

平成 23 年度の県内企業海外展開動向調査によると、県内中小企業、特に中小製造業の東南アジアへの進出ニーズは高く、実際

に 1,524 社中、423 社が既に海外展開を果たしております。今後、生産拠点の設置を検討したい企業の進出希望先ではタイ、ベトナム、インドネシアが上３カ国となっており、進出希望規模は 1,500 ㎡未満が最も多く、なかでも言語のハードルや単独進出の難しさという中小企業特有の課題から、タイ、ベトナムでの貸工場のニーズが高まっています。近年のタイ・インドネシアでの賃金上昇に比べ、ベトナムでは比較的低賃金を維持していることからもベトナム進出を考える企業は増えています。

県では神奈川インダストリアルパーク構想を進めています。入居企業のメリットとして、県及び関係機関等から進出前から進出後まで一貫して多面的な支援が受けられるという点、また現地政府機関からの支援を受けることも可能です。県内企業に対しては優遇措置や、5,000 米ドルの会社設立手続き代行費用等が無料（実費のみ負担）という特典もあります。民間の人材関連企業からの支援も可能です。入居企業同士のマッチングやセミナー開催を今後も予定しているので、ぜひご参加ください。

● ベトナムの工業団地紹介

住友商事株式会社　海外工業団地部　第一チームリーダー　清水 禎彦 氏

住友商事㈱が展開するタンロンインダストリアルパークⅡ（TLIPⅡ）の概要をご説明いただきました。

住友商事㈱では飛躍的に改善するベトナム北部の投資環境、橋や港などの公共インフラ、イオン等のショッピングセンターの整備により、近年成長著しいハノイでタンロン工業団地（TLIP）、第二タンロン工業団地(TLIPⅡ)を開発、運営しています。タンロン工業団地の入居企業は 100 社ほどでほぼ日系企業が占めており、タンロンⅡは 2008 年から販売を開始、入居企業の 50 社全てが日系企業で、貸工場も手がけています。タンロン工業団地はハノイ市内に位置しており、タンロンⅡはハノイから中心部から車で１時間程度の場所にあります。今年末に新国道 5 号線（高速道路）が開通するとハノイ市内からのアクセスは半分になる予定です。

タンロン工業団地では、区画の小さい貸工場があり、一番小さい区画で 500 平米から貸工場を提供しています。現状としては大手の投資が一巡して、中小企業への投資が盛り上がっているところです。タンロンの貸工場を活用している中小企業の展開事例として、中小企業には人が集まりづらいというデメリットを補填するため、技能実習制度を使ってベトナムから３人の人材を雇用。現在は 3 社合弁で貸工場を活用しています。

タンロンⅡは神奈川インダストリアルパークと提携して展開中です。敷居が高いというイメージがあるかもしれないが、入居企業 50 社のうち、中小企業は半分を占めており、そのうち 45%は海外初進出の企業です。当社では土地や貸工場を売って終わりではなく、海外での創業支援も含めたサポートをしているので、人手や進出費用が限定されることの多い中小企業向けと考えています。

日本の製造業の海外展開のサポートの一例を挙げると、最上級のハード面インフラの整備と定期的な保守点検、日本人によるソフトインフラのフルサポート、経済・地域への貢献、環境への配慮等があります。これに加えて、従業員の雇用教育支援、法令、労務、財務等の最新情報の共有を含めた創業支援サービスなども提供しています。洪水対策や、電気系統の整備による団地内の停電リスクの軽減もベトナムでの事業には必須です。

貸工場は今年 6 月に竣工予定。またタンロンⅡの特筆すべき点は汚職撲滅宣言をベトナムの工業団地で唯一実施していることです。

親和性の高いベトナムは信頼できるパートナーに成りうると考えています。ベトナム進出を考えていらっしゃる企業はぜひご検討ください。

◆質疑応答・海外進出紹介例　　司会　猪狩惇夫 氏

海外進出の国選び、重視すべきことや進出の可能性の高い分野などを説明していただきました。　ベトナム進出を考えた場合、日本の産業発展のどの時期に位置しているかを念頭に置いて進出を考えたら上手くいくと思います。　実際に海外進出された企業のご経験談を交えながら質問時間に移りたいと思います。

ダイヤ工芸（株）

レンタル工場を利用して海外進出後約 3 年経過しました。最初の 1 年は家賃の支払いに苦労しました。家賃の安い場所で開業しましたので、情報入手が大変でした。　工業団地なら情報入手が容易だと思います。

ユニオールディング（株）

現在ベトナムで合弁会社を作り、出来た製品をヨーロッパ/アメリカで販売しています。　工場は輸出の便を考慮して港の近くに作りました。

（株）コンビ

Q）英語の話せる幹部社員雇用に関し

A）英語の話せる社員確保は間口が広いです。　（日本語の話せる社員確保は大変です）

Q）保税制度に関し

A）会社の設立時にその(EPA)ステータスを取る必要があります。　輸入から輸出までが 275 日以内なら関税がかからないで行うことが出来ます。　下請への持ち出しにおいて、同じ EPA 環境下の場合は簡単に出来ます。

群馬大学

Q) タイロン２に直接入るのと KIP(公財 神奈川産業振興センター)経由で入る場合の処遇の違いに関し

A) KIP 経由の場合は有形・無形のメリットがあります。

例として） 神奈川県などの一貫した支援、日本人駐在員による支援、定例会で情報入手(月１回)

管理費１年間無料、投資ライセンス取得代行サービスガ無料

◆講師を囲んでの交流会

参加者は和やかに軽食をとりながら名刺交換を行っていました。

第９回海外事業展開事例研究会セミナー　アンケート結果

実施日：2015 年 4 月 27 日

集計数：**34 通**

基調講演： （ベトナムの経済概況） 非常によかった　12 通 よかった　17 通 普通　4 通 もう少し改善を　0 通 改善が欲しい　0 通 無回答　1 通	◆コメント◆ ・わかりやすくもう少し聞きたいと思いました。 ・ポイントを分かりやすく説明していただき良かった。 ・ベトナムの概要とマクロの視点がわかり良かった。 ・最新情報が入手できました。 ・情報量が豊富でわかりやすかった。 ・手短にポイントを完結にご説明いただき、よく理解できた。 ・ベトナム経済の概況がわかりました。 ・環境対応に積極的に働きかける余地があるか。エネルギー資源の枯渇に対する考え方がはっきりしているか。水問題に如何に取り組んでいるか。 ・発表資料をメールで送ってほしい。 ・時間が短かった。もう少し話を聞きたかった。 ・とにかくわかりやすかった。
事例報告： (ベトナムの産業市場) 非常によかった　7 通 よかった　22 通 普通　4 通 もう少し改善を　0 通 改善が欲しい　0 通 無回答　1 通	◆コメント◆ ・実際に進出している 6 社の写真が見られたので、わかりやすかったです。 ・実情がわかったので、現地の状態がわかりやすかった。 ・新聞、メディアで得られる情報が体系的に整理されており、産業市場の理解が進みました。 ・産業構造やポテンシャルが理解できた。 ・具体的な中小企業の成功事例は興味深い。 ・ベトナムの製造業の様子がわかりました。 ・環境政策（国家）の進み具合、考え方について電力事情は円滑か。再生エネルギーの進出余地はあるか。 ・発表資料をメールで送ってほしい。 ・時間が短かった。もう少し話を聞きたかった。 ・現地企業の事例が特に参考になった。

事例報告： （海外レンタル工場・事例） 非常によかった　7通 よかった　17通 普通　8通 もう少し改善を　1通 改善が欲しい　0通 無回答　1通	◆コメント◆ ・現実的でわかりやすい。 ・仕事の大変な部分、現実の大変な部分が良かった。 ・具体的に海外展開事例を紹介していただき、海外業務のイメージができた。 ・インドネシアもレンタル工場が普及し、中小企業の受け入れ体制が整ってきたことがわかった。 ・㎡単価、勉強になりました。 ・時間が短かった。もう少し話を聞きたかった。 ・レンタル工場選択の過程が現実的で良かった。このような視点での講演はあまり聞いたことがなく新鮮。
事例報告： （ベトナムのレンタル工場の現状） 非常によかった　6通 よかった　20通 普通　7通 もう少し改善を　0通 改善が欲しい　0通 無回答　1	◆コメント◆ ・神奈川の取り組みを知ることができて興味深かった。 ・地方自治体としての中小企業のための工業団地の開発は今後の他の自治体に参考となる。 ・初めて知りました。 ・時間が短かった。もう少し話を聞きたかった。 ・県の取り組み経緯が理解できた。
事例報告： （ベトナムの工業団地紹介） 非常によかった　6通 よかった　20通 普通　7通 もう少し改善を　0通 改善が欲しい　0通 無回答　1通	◆コメント◆ ・親日だから進出を考えるならベトナム、日本語で通用するのはありがたい。 ・分かりやすい。 ・住友商事の取り組み方を知って、どのような部分が現地で問題になるのかを知りました。 ・どのようなサービスを海外に展開しているか、具体的に紹介していただき、ためになった。 ・具体的な企業名と実例の開示がわかりやすかった。 ・団地内の企業名や進出事例がわかりやすかった。 ・時間的に短く、内容は詳細にわたっているので、もう少し時間がほしい。 ・清水さんが男前でステキです。 ・発表資料をメールで送ってほしい。 ・時間が短かった。もう少し話を聞きたかった。 ・福井の企業例がとても良かった。細かい情報は別途資料で良いです。第Ⅱタンロンの特徴もよくわかった。

質疑応答 非常によかった　6 通 よかった　12 通 普通　3 通 もう少し改善を　1 通 改善が欲しい　0 通 無回答　12 通	◆コメント◆ ・既に進出している企業の話を聞けたのが良かったです。 ・保税等の細かい情報も大変参考になった。 ・指名による質疑の方式。 ・質問票の整理を（予め）。 ・報告終了後、その都度、質疑応答をしてほしかった。 ・具体的なものが多く、Q&A というよりも情報交換の場になっていた。
セミナー全体を通して 非常によかった　9 通 よかった　18 通 普通　1 通 もう少し改善を　1 通 改善が欲しい　0 通 無回答　5 通	◆コメント◆　・色々な情報を収集できて良かったです。 ・専門性が高まり、進出した企業でも興味を持って拝聴できる内容だと思います。 ・勉強になったが、もう少しベトナム（ホーチミン）の情報が欲しい。 ・もっとソフト的な視点の話が欲しい。現地人材の活用、専門職の状況、経理など事務職、言語（日本語・英語）、コミュニケーション、労働に対する考え方、税制・ファイナンス、銀行.など。 ・通常知ることのできない情報を知ることがわかって勉強になりました。 ・あらかじめ質問票を提出する仕組みが良かった。初参加で勝手がわからなかったので、もう少し案内があった方が良かった。 ・２時間のセミナーでしたが、各演者の時間が短く、テンポの良いセミナーだったと思います。 ・勉強になりました。ありがとうございました。 ・テーマをもう少し少なく、一人あたりの講義をもう 15 分程多くしてもらえると良いかと思います。 ・あと１トピックス位のスピーカーがいれば、情報が多くなると思う。 ・時間配分が厳格にされている。スピーカーの内容は十分だが、時間が全体的に短い。 ・若干表面的な説明が多かった。 ・講師あたりの時間が少ない。 ・会の名称通り、事例の紹介が豊富で良かった。 ・ほとんど知識がない自分でもベトナムの産業の現状などがよく理解できた。

今後セミナーを希望する国と内容をご記述ください。	・メキシコ ・ベトナム（３） ・パキスタン ・ドバイ ・中東 ・ミャンマー（５） ・カンボジア（３） ・ラオス（２） ・フィリピン ・インドネシア（２） ・インド、バングラデシュ ・本日と同じような内容 ・中国などの知財問題 ・中央アジア諸国のことが知りたいです。 ・サービス業について ・ASEAN 地域を工場群として利用する場合に、どこに拠点を設けることがいろいろな意味で効率的か？ ・特にないですが、いろいろなアジアの国での情報を知りたいです。 ・具体的な海外展開事例を中心に紹介してほしい。成功と失敗例を希望。企業からの質問をあらかじめ吸い上げて発表していただきたい。 ・タイ、インドネシア、インドなど。販促・マーケティングなど販路開拓について。 ・ベトナム以外の新興国への進出に係るセミナー。（タイ＋１）とミャンマー、カンボジア、ラオス。 ・ミャンマーへの中小企業進出の動向。 ・各国間の比較。法制度、税金、物流、要員（賃金、定着性）、不正防止、コンプライアンス。 ・タイ。設計業進出の実例。

当セミナーをどこで知りましたか？	メルマガ　11 通 海事研ホームページ　2 通 チラシ　1 通 友人からの誘い　5 通 その他　8 通 （KIRC からの紹介、前任者より、以前に参加し、 E メールをもらったため：各 1 通 後援のため：　2 通） 無回答　7 通